

「家庭の日」作文コンクール

子どもが心豊かに健やかに育つためには、家庭や家族のあり方が何より大切です。青少年育成国民会議では、昭和41年から毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、親子のふれあいや家族の団らんを推奨しています。

青少年育成鳥取市民会議では、この取り組みを普及促進するため、昭和57年から毎年、家庭や家族に関する作文のコンクールを行っています。平成19年度は、テーマを「家族で大切にしていることがらや言葉、約束事」として、小学生のほか中学生からも募集したところ、421点の応募がありました。その中から、最優秀賞に選ばれた作文を紹介します。

※学年は応募があった昨年度のものです。



青谷中学校1年 福市 有香さん

「私の大好きな時間」

「待ってつたよ。じゃあ、食べようか。」
午後七時ごろ、部活が終わって帰宅しても、まだ家族のみんなどは夕食を食べていない。いつも、私が帰宅するのを待ってくれているのだ。そういう時は、とてもうれしい。

我が家の団らんは、できるだけ毎日、夕食を家族全員で食べることであ。家族がそろって夕食を食べはじめると、中学校でのこと、妹たちの通う小学校でのこと、父や母の仕事場でのエピソードなど、いろいろな話題で盛り上がり、私はその話題に耳をかたむける。そして自分の話を聞いてもらう。私は、この夕食の時間の会話をいつも楽しみにしている。

この団らんをするきっかけとなったのは、私に通っていた小学校が実施していた「ノーテレビデー」である。

入選者の紹介

優秀賞

井上 貴稀さん	附属小学校 2年
谷口 里菜さん	西郷小学校 2年
細田 智佳さん	附属小学校 3年
中本 裕大さん	醇風小学校 5年
岩垣 京之介さん	醇風小学校 5年
白尾 拓巳さん	世紀小学校 5年
田中 里歩さん	桜ヶ丘中学校 1年
小谷 詩織さん	湖南中学校 2年
出雲 彩香さん	附属中学校 3年

佳作

溝端 結さん	湖山小学校 1年
吉田 寛治さん	醇風小学校 2年
清原 夏さん	明德小学校 3年
上田 花菜さん	美保小学校 3年
神谷 和輝さん	湖山小学校 3年
加納 成優さん	湖山小学校 3年
廣本 守哉さん	附属小学校 4年
森本 香帆さん	附属小学校 4年
瀧 志穂里さん	附属小学校 4年
中川 開公さん	湖山小学校 4年
北脇 美奈子さん	世紀小学校 4年
澤田 厚海さん	醇風小学校 5年
西口 聡さん	湖山小学校 5年
中島 惇生さん	岩倉小学校 6年
中山 瞳さん	高草中学校 1年
松本 知香さん	桜ヶ丘中学校 1年
岩崎 友美さん	桜ヶ丘中学校 1年
三ツ国 弘子さん	湖南中学校 1年
浅井 悠さん	桜ヶ丘中学校 2年
大 家 渉美さん	用瀬中学校 3年

毎週木曜日の午後八時以降はテレビを見ないという取り組みで、私たち家族は、これを機にテレビを見る時間が減った。そしてそのかわりに家族の団らん時間が増えた。そのころの私は、ノーテレビデーの日には、宿題を早めに終わらせ、私や二人の妹、そして父や母も一つの部屋に集まって、おしゃべりをし、時には一人一人が読書、みんなでトランプやすごろく、百人一首をするなど、わずかな時間ではあるが、楽しく過ごしていた。また、ノーテレビデーではない時でも、自然と一つの部屋に集まって過ごすことが多くなっていった。

しかし、私が中学生になり、宿題が終わってから団らんをすることが難しくなってしまう。私にとって、何かペースがくるような気がした。勉強を終えると妹たちは寝てしまっているし、自分も疲れてしまい、ゆっくりとする気になれない。

そんな時、私は今まで気づかなか

った別の団らんの時間を見つけた。それは、実は、家族がいつも心がけていたことだった。なるべく毎日、夕食を家族全員で食べるようにしたり、土日の午後三時ごろには、家族でおやつを食べたりと、今まで私が思っていた団らんとは少し違うけれど、私はこれもなかなかいいなあと思っている。私に気づいていなかったただけなのかもしれないけれど……

このことに気づいた時、私にとってわずかなこのひとときこそが、とても小さなことだけどほっとできる時間であり、私に必要だったのだと思う。これからも、夕食での会話、家族と過ごす時間を大切にしたい。そして、家族の「きずな」がより深まればいいと思う。

私は、「待ってつたよ。じゃあ、食べようか。」と、私だけにかけてくれる、この言葉が大好きだ。

問い合わせ先

生涯学習課（文化センター内）
☎（0857）20-3363

美しい鳥取市の景観を守ろう！



美しく、個性あふれる鳥取市の景観を守り、育て、創り、次の世代に伝えていくため、鳥取市景観計画を策定しました。

景観とは

山や川などの自然や、道路や建物の構造物など、私たちの目に映るすべてのものが合わさって「景観」を形作ります。

景観まちづくりの目的

美しい景観は日々の生活を豊かにしてくれます。日本海、湖

山池などの自然景観、鳥取城跡や鹿野城下町などの歴史的・文化的景観を守り育てることによって初めて美しい鳥取市を保つことができます。そのための総合的な景観施策として「景観計画」を策定しました。

景観計画区域

市域全域を景観法に基づく「景観計画区域」とし、市の基本的な景観の保全や周辺との調和を重視した景観形成をめざし

届出

このうち、歴史・文化、自然などの特色が象徴的に現れている4地域を「景観形成重点区域」として指定しています。

10月1日から基準を超える規模の建築物や工作物を設置しようとする場合には、届出が必要となります。なお、「重点区域」はより厳格な基準となります。

問い合わせ先
市役所本庁舎都市計画課 ☎(0857) 20-3271

< 10月1日以降、届出が必要な主な行為 >

建築物の新築・移転・増改築	高さ・面積が基準を超える場合
工作物の新設・移転（煙突、広告塔、電波塔、高架水槽、記念碑、電線、へい、車庫など）	高さ・面積が基準を超える場合
建築物などの模様替えや色彩の変更	面積が基準を超える場合
開発行為、土石の採取による土地形状の変更、水面の埋め立てなど	土地の面積や擁壁の高さが基準を超える場合
木竹の伐採	面積などが基準を超える場合
屋外での土石や廃棄物などのた積み	面積や高さが基準を超える場合
特定照明	ライトアップされるものの高さが基準を超える場合

これらのほか、使用可能な色彩や緑化の規定もあります。詳しくはお問い合わせください。

山陰海岸の「世界ジオパークネットワーク」への加盟をめざしています！

●ジオパークとは…

学術的に貴重で、美しい地質遺産を有する自然公園のことです。ユネスコが支援する世界ジオパークネットワークが平成16年に設立され、現在、ヨーロッパや中国など世界の50カ所あまりのジオパークが加盟していますが、日本国内ではまだ例がありません。

●山陰海岸をジオパークに！

京丹後市の網野海岸から本市の鳥取砂丘までの約75kmの山陰海岸は、地形のドラマティックな変化を目の当たりにできる世界的にも貴重な海岸で、昭和38年に山陰海岸国立公園に指定されました。本市では、関係する自治体や民間団体と協働して「山陰海岸ジオパーク推進協議会」を平成19年に設立し、平成21年中の世界ジオパークネットワークへの加盟をめざして取り組みを進めています。

「山陰海岸ジオパークフォーラム」を開催します
山陰海岸の魅力と価値を再認識していただけるフォーラムです。
と き：5月10日（土）13:30～
と ころ：とりぎん文化会館（県民文化会館）小ホール

問い合わせ先
市役所本庁舎企画調整課 ☎(0857) 20-3153